

『がん医療推進に係る県民公開セミナー 集学的がん治療講演会』を開催しました！

皆様、こんにちは。

この度、11月25日（土）14時00分より、広島県・福山市・広島県医師会・福山市医師会・松永沼隈地区医師会・深安地区医師会・府中地区医師会との共催により、福山すこやかセンターで県民公開セミナーを開催し、98名の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーは、手術・放射線治療・化学療法や、話題の免疫療法等様々な治療法を患者の状態にあわせて、組み合わせる「集学的がん治療」にスポットを当てて実施しました。

広島県がん対策課長の山口浩央氏から「広島県のがん対策」について情報提供があった後、福山市民病院診療部次長兼外科科長の貞森裕先生より「外科治療の最前線」、福山医療センター放射線治療科医長の中川富夫先生と広島がん高精度放射線治療センター長の永田靖先生により「放射線治療の最前線」についての講演が行われました。

今後も、このような活動を通じて、皆様にハイブラックや放射線治療の特徴についてお伝えしていく予定としております。活動内容は下記ホームページに随時アップしてまいります。（<http://www.hiprac.com/>）

■開会の挨拶



↑福山市医師会副会長 平田先生

■第1部 【肝胆脾外科治療の最前線】 ～腹腔鏡手術から治療限界の安全な克服まで～

放射線治療、化学療法と外科治療を組み合わせることで進行したがんに対する治療成績が向上する。福山市民病院では集学的がん治療をしっかりと活用することによって、これまでは切除不能であった高度進行がんを安全に切除できるようになってきている。



↑福山市民病院 貞森先生

■第2部 【放射線治療の最前線①】 ～前立腺がん・子宮頸がん・乳がん～

最近若年層に増加している子宮頸がんでは、手術と放射線治療は同等の治療成績であり、生存率は変わらないため、どちらの治療法も選択が可能である。また、放射線治療と抗がん剤の併用が推奨されており、放射線治療単独と比較して治療成績が良好であることが分かっている。



↑福山医療センター 中川先生

■第3部 【放射線治療の最前線②】 ～肺がん・肝臓がん・緩和照射～

肝臓がんの治療法には手術やラジオ波治療、動脈内寒栓療法などがあるが、それが難しい場合は、体幹部定位放射線照射（ピンポイント照射）が勧められ、患者への負担が少なく、臨床成績も良い。HIPRACでは、最先端の高精度放射線治療装置が3台導入されている。治療は全て健康保険適用であり、安心して受診して頂ける。



↑HIPRAC 永田センター長

最後に、事前に届いた質問事項について、→講師陣と福山市医師会平田副会長から回答と解説があり、盛会裏に終了しました！



■情報提供『広島県のがん対策』



↑広島県がん対策課 山口課長



↑98名の方に、ご参加いただきました♪



より詳しい内容は、広島県医師会速報12月25日号をご覧ください。

★HIPRACに関する質問（診療・受診方法など）は、こちらへお問い合わせください。

mail: office@hiprac.jp

Tel : 082-263-1330 / Fax: 082-263-1331